



旭丘中学校区小中一貫教育 学ぶの手引き



小学校	年 組 番	名前
旭丘中学校	年 組 番	

家庭学習のすすめ【保護者のみなさまへ】

小・中学校での学習は、将来、子どもたちが自立するための基礎となるものです。

小野市では、小・中学校で同じ教育目標を掲げ、一貫した指導を行うことで基礎・基本の学力や将来にわたって『生きる力』の育成を目指しています。

学校における学習や教育活動だけでなく、ご家庭と連携することでさらに教育効果を高めていくことができます。

本資料を活用いただき、家庭学習の習慣化を進めていただきますよう、お願いします。

〈学びの習慣化に向けて〉

(1) 基本的な生活習慣を身につける

早寝・早起き・朝ごはん

十分な睡眠（6～8時間）

スマートフォンやゲーム等のルールづくり

地域行事への参加



できていますか？
チェックしてみてください。

(2) 学習の環境づくり

- ① 毎日自分が決めた時間に学習に取り組む。
- ② 1日の学習時間を決める。
- ③ 机の上には学習用具だけをのせる。
- ④ テレビや音楽は消して、集中できる環境をつくる。
- ⑤ 次の日の学習の準備をする。



(3) 家庭学習のめやすと内容（高学年）

学習目標：自学自習の習慣を身につけ、自主的に学習に取り組む。

目標時間：50～90分

学習内容：課題学習と自主学習など

- ① 課題学習：学校の宿題、漢字ドリルや計算ドリル、「おの検定」
- ② 自主学習：読書、調べ学習
- ③ その他：新聞記事の切り抜き、気に入った詩や文の書き写し



国語

国語

「話す」「聞く」「書く」「読む」力をつけよう。

国語について

◆国語科は、社会で生きる人間として大切な「話す」「聞く」「書く」「読む」の4つの力を総合的に学習します。これらの力はすべての教科の土台、筋道を立てた考え方の基礎となる力です。

話す力：相手にわかりやすいように、自分の考えや思いを筋道を立てて話しましょう。

聞く力：相手の考えを理解するため、必要なことはメモを取るなどして聞きましょう。

書く力：自分の考えを相手に伝えるために、わかりやすく、さまざまな表現で書きましょう。

読む力：表現に着目して、作者の考えや思いを読み取りましょう。

小学校で学んでおくこと

小学校で学んだことは繰り返し中学校でも学びます。説明文や物語文の勉強の方法の基本をしっかりとし身に付けておきましょう。

①小学校で学習した漢字を、読んだり書いたりできるようにしましょう。例「同じ読み方の漢字」「熟語の成り立ち」など

②いろいろな分野の本をはば広く読む習慣をつけましょう。

③言葉をとくさん身につけましょう。★辞典を使って意味を知りましょう。

④有名な古典作品(昔の文)の冒頭部(はじめの部分)を暗唱しましょう。

例「枕草子」「平家物語」など

⑤文の組み立てを知ろう。例「主語」「述語」「修飾語」など

⑥新聞を読んで、社会で起きていることに興味を持ちましょう。

⑦グラフや表を使って説明したり、話し合い活動をしたりしましょう。



家庭学習のアドバイス

①教科書をじっくりと何度も読みましょう。(音読・黙読)

※意味の分からない言葉は、必ず辞典で確認しましょう。

②毎日、漢字学習をしましょう。「おの検定」「漢字ドリル」など

③はば広い知識を得るために、本や新聞を読みましょう。 ※「1日30分」を目標に。

④ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語などを覚えましょう。

⑤言葉のきまり(文法)に注意して、自分の考えを文章に書く習慣をつけましょう。

※日記や感想など

⑥古典・短歌・俳句・詩は、何度も繰り返し声に出して読みましょう。

※できれば覚えるまで、繰り返し読みましょう。

